

1 安曇野市平和のつどい並びに戦没者追悼式



※写真提供 安曇野市（平成25年度時）

開催概要（平成25年度）

歳事名：安曇野市平和のつどい並びに戦没者追悼式 ※一般戦災死死者を含む  
 会場：安曇野市堀金総合体育館 サブアリーナ  
 住所：長野県安曇野市堀金烏川2662  
 （JR大糸線豊科駅より 車で10分）  
 日時：平成25年11月23日（土） ※例年11月開催  
 参加者数：約250人  
 連絡先：平和のつどい…安曇野市 総務部 総務管理課 行政担当 0263-71-2000（代表）  
 戦没者追悼式…安曇野市 福祉部 長寿社会課 福祉政策担当 0263-81-1622（直通）

式次第（平成25年度）

平和のつどい	戦没者追悼式
1. 開式	1. 開式
2. 市長 あいさつ	2. 国歌斉唱
3. 教育委員長 あいさつ	3. 市長式辞
4. 作文集 進呈	4. 黙祷
5. 作文発表平和への想い	5. 追悼のこぼ
6. 平和祈念講演	6. 電文披露
7. 閉式	7. 献花
	8. 閉式

式辞（平成25年度）

本日ここに、多くのご遺族とご来賓の皆様のご参列をいただき、安曇野市戦没者追悼式を執り行うにあたり、戦禍の犠牲となられた郷土の戦没者各位並びに戦災の受難により犠牲となられた方々の御霊に対し、全ての安曇野市民とともに、謹んで哀悼の誠を捧げます。

顧みますと、かの大戦においては、多くの方々が父祖の地を離れ、ただ一心に祖国の安泰を願い、家族の平穏を祈りながら、苛烈を極めた戦いに傷つき、心ならずとも遠い異郷の地で帰らぬ人となられました。

終戦を迎えた後にも、多くの苦難にさらされる中で異国に倒れられ、終には故郷安曇野の地を今一度踏むことの叶わなかった方々もおられました。

国のため、故郷のため、家族のために戦火に倒れられた方々の御霊に思いを致すとき、終戦から六十八年余という歳月を経た今日にあってもなお、慟哭の思いが胸に迫ってまいります。

また、大切な家族を失われたご遺族の皆様におかれましては、深い悲しみに耐え、幾多の試練を乗り越えてこられたところであり、今日までの長きにわたる並々ならぬご苦労に対し、心からのご慰労を申し上げ、敬意を捧げるものであります。

さて、本年四月に阿智村に満蒙開拓平和記念館が開館しました。当市からも大勢の方が満州に渡った後、戦禍の犠牲となり帰らぬ人となっております。記念館には、県内外から予想を上回る方が訪れ、国策として遠く大陸へと渡った開拓団の足跡に思いを馳せているとのことであります。

これもひとえにご遺族ならびに関係者の方々の、世界平和への強い思いと、かつて悲惨な戦争があったという事実を忘れてはならないという信念が実を結んだものと、大変感銘を受けております。

これらをはじめ、諸霊のご加護とご遺族の皆様のご多大なるご尽力の賜物として、我々が日々享受している平穏な日々があり、この繁栄の陰には、御霊の尊い犠牲とご遺徳による誠に大きな礎があることを一時たりとも忘れてはならないと改めて肝に命じるものであります。

この思いを深く胸に刻み、これからも、諸霊が愛された故郷、幾多の人々によって受け継がれてきたこの安曇野を、さらにいきいきと輝く命が溢れ、二度と戦火に曝されることのない平和な地にして未来へとつなぐ、それが、諸霊の魂を受け継ぐ私たちに課せられた責務です。

歴史や文化に学び、この美しい環境や景観を護り、あらゆる人が安心して生活ができる豊かな安曇野市の実現に向け、市民の皆様と力を合せて邁進してゆこう、と改めて覚悟するところであります。

ここに、御霊の「永久に安らかならん」とことと、そして郷土に平和と限りなき発展をお導き賜りますことを念じ、併せまして、ご遺族、ご参列の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、式辞といたします。

平成25年11月23日  
 安曇野市長 宮澤 宗弘